



日時：9月10日（土） 13：00～14：30

会場：オンライン ZOOM 開催

いつ起こるかわからない災害発生時に 助産師はどう行動したらよいのか



1.神奈川県と神奈川県助産師会が行ってきた災害対策

①神奈川県との協働

講師：昭和大学保健医療学部 看護学科 教授 **上田 邦枝 氏**

②助産所としての冊子の活用

講師：神奈川県助産師会立とわ助産院 院長 **山本 年映 氏**

2.東日本大震災時の教訓を活かして

講師：宮城県助産師会災害対策委員 坂総合クリニック **青山 幸恵 氏**

参加者数： 15 名（会員 12 名、非会員 3 名）

主催者から

上田先生のお話からは、災害時のマニュアルの作成や冊子をつくるためにかかった時間と労力、そして費用についても垣間見ることが出来ました。山本先生からは、施設として助産師としてどう動いていけばよいのか、より身近な地域ごとのコミュニティで活動する必要性があることを学ばせていただきました。また、青山先生の被災された立場からされたお話は、臨場感にあふれており、そこに語り継ぐ大切さを感じました。特に事例は心に響くものがあり、震災は被災された方の中では未だ続いていることがあるとわかりました。そして、長期的な支援はスタッフも疲弊するため、癒しのケアが必要なことも知りました。

今回の研修が災害対策を皆で考えるきっかけとなり、今後の活動の一助となれば幸いです。

とても良いお話でしたので、参加者が少なかったことが残念です。皆様、ご都合を調整してご参加ください。

参加者から

- ・災害訓練がコロナ禍でなかなか行えておらず不安な状況ですが、防災意識を高める機会になりました。
- ・とても貴重なお話がありました。避難所での具体的な支援も知ることができたら良かったと思いました。
- ・青山先生のご講義は、実体験と災害対策のための具体的な内容になっていて、これからの活動にとっても参考となりました。
- ・ありがとうございました。この様な事を聞くたびに準備や備えをしなければいけないと思うのですが、時間経過と共に薄らいでしまいます。備えは更新して行く事が必要であると思いました。
- ・青山先生の講義は、写真も手記もあって被災地の状況がとてもよく分かり、目の離せない講義でした。大変な体験を語って下さり感謝申し上げます。防災に関する助産師個人の意識を高めるためにも、多くの助産師に聞いて欲しいと思いました。今回の研修に参加できて良かったです。企画して頂いた方にも感謝申し上げます。